

早期景気観測調査

【12-1 月期 調査結果報告書】

令和4年2月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 令和4年1月14日(金)～1月31日(月)
4. 調査対象： 当所会員132事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 82件
7. 有効回答率： 62.1%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【12-1 月期の動き】

全体業況は▲3.7と、2期連続の改善。しかし、向こう3ヶ月の業況は▲31.7と大幅に悪化する見通しであり、新型コロナウイルス感染再拡大による経済への影響を懸念する企業が多数。

12-1 月期の全業種総合の業況DIは、▲3.7（前期比7.0ポイント増）と、2期連続で改善となった。しかし、向こう3ヶ月の先行き業況▲31.7と大幅に悪化する見通しであり、1月から再拡大し始めた新型コロナウイルスの経済に対する影響や、依然として続いている、原油価格高騰や供給制約による影響を危惧する企業が多数出てきた。

業種別では、建設業、卸売業、サービス業が改善、製造業、小売業が悪化となった。

製造業の業況DIは20.0（前期比9.4ポイント減）と2期振りの悪化となった。

○改善⇒採算DI、仕入単価DI ○悪化⇒売上DI、従業員DI、金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

建設業の業況DIは▲6.7（前期比30.8ポイント増）と2期連続の改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、従業員DI、仕入単価DI、金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、横ばいの見通し。

卸売業の業況DIは0.0（前期比29.4ポイント増）と2期連続の改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、仕入単価DI ○悪化⇒従業員DI、金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

小売業の業況DIは▲56.3（前期比36.3ポイント減）と2期振りの悪化となった。

○改善⇒仕入単価DI ○悪化⇒売上DI、採算DI、従業員DI

○横ばい⇒金融貸出しDI

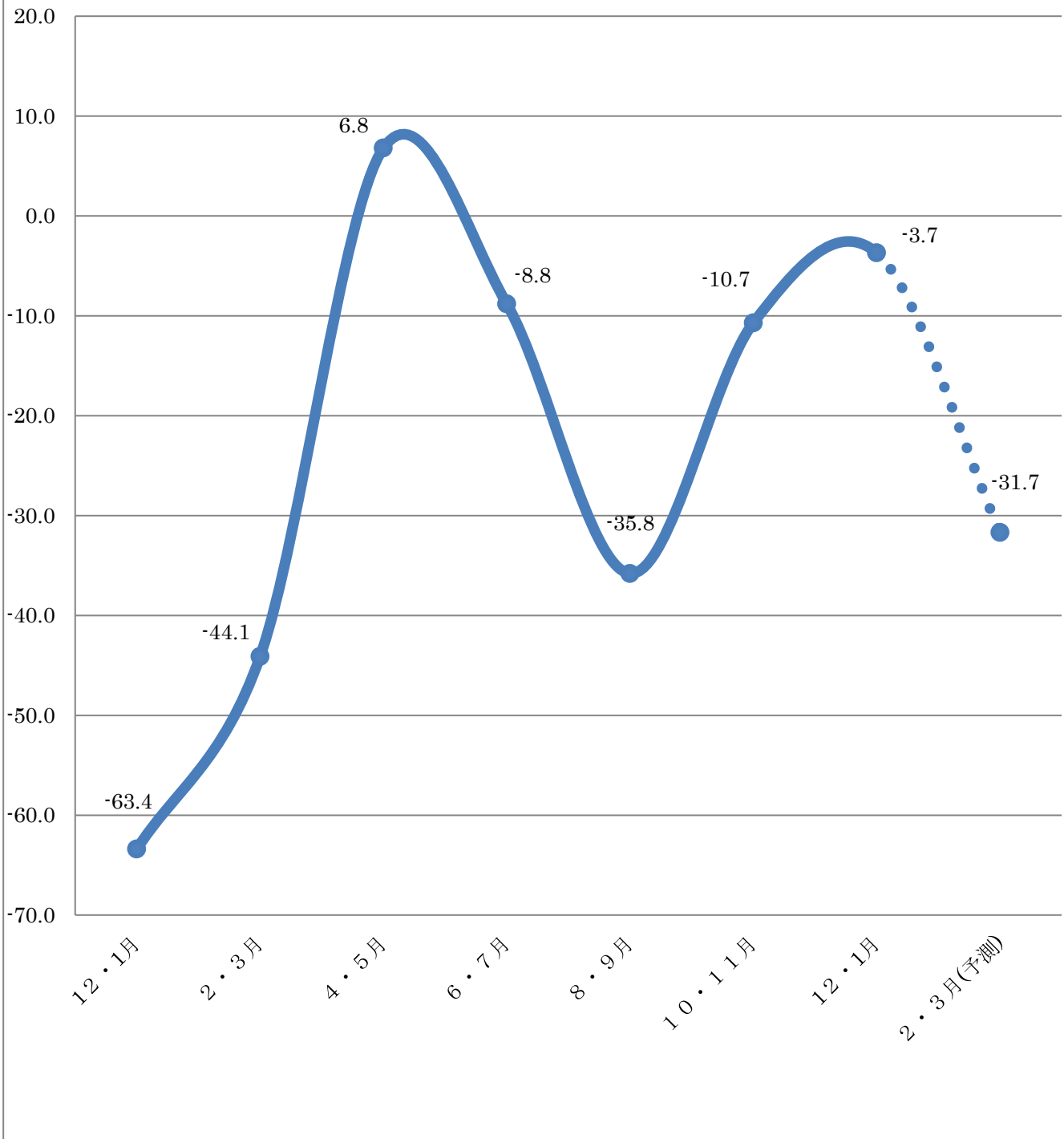
向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

サービス業の業況DIは23.1（前期比16.0ポイント増）と2期連続の改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、仕入単価DI ○悪化⇒従業員DI、金融貸出しDI

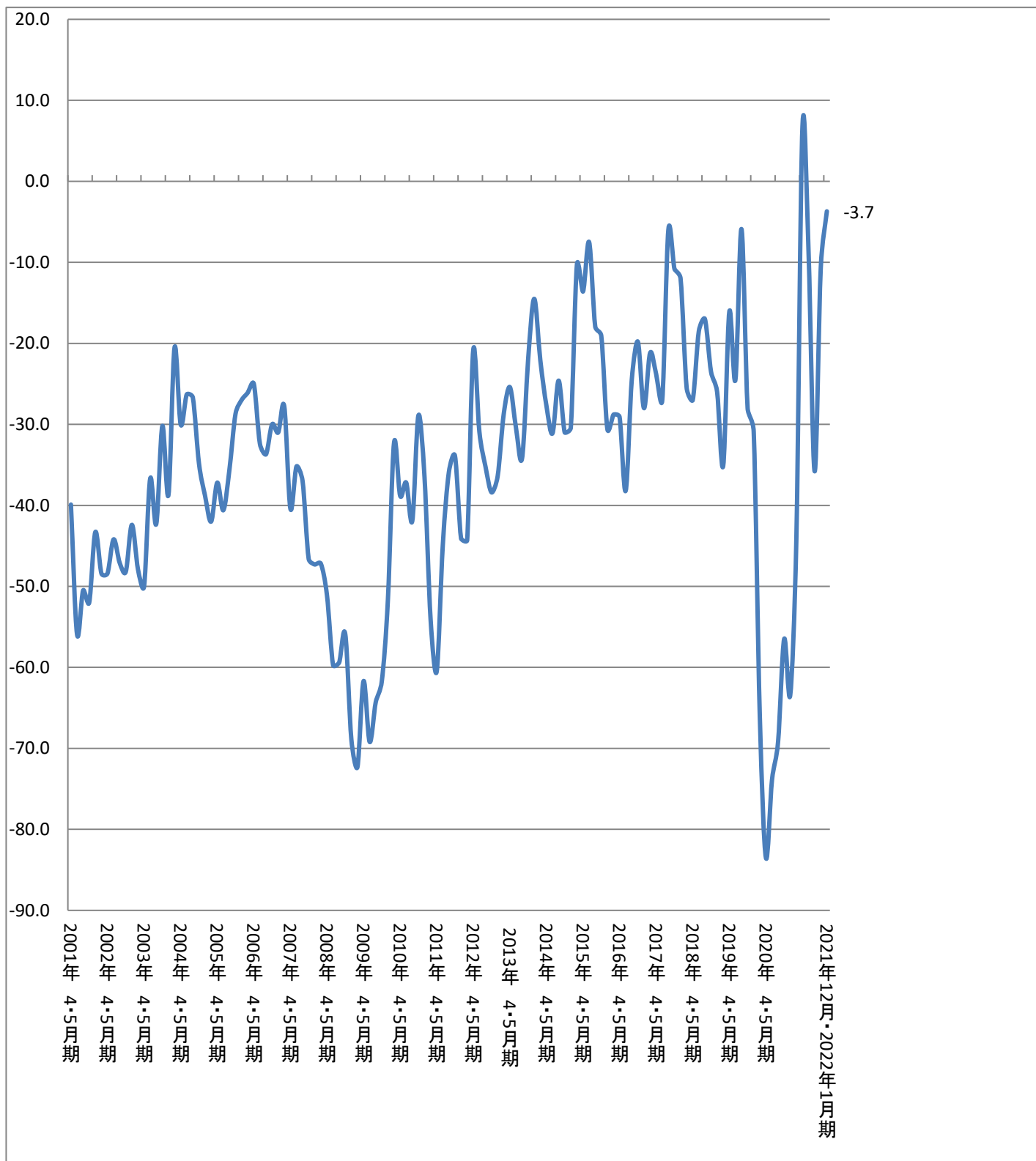
向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

業況D I の推移



業況DIの推移

(2001年4・5月期 ～ 2021年12・2022年1月期)

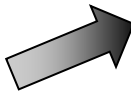

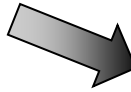


◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について







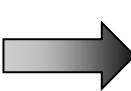
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて（先行は今回実績値に比べて）		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」（改善）と表示しております。
 従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲3. 7	▲31. 7	1. 2	▲28. 6	▲46. 3	11. 0	1. 2

12-1月期の全業種総合の業況D I は、▲3. 7（前期比7. 0ポイント増）と2期連続の改善となった。

項目別

○2期連続改善⇒売上D I（▲9. 5→1. 2）、採算D I（▲22. 6→▲15. 9）

○今期より改善⇒仕入単価D I（▲63. 1→▲46. 3）

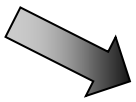
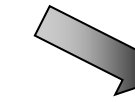
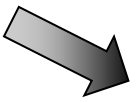
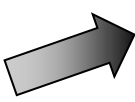
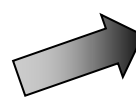
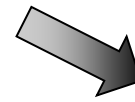
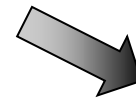
○今期より悪化⇒従業員D I（21. 4→11. 0）

○今期より横ばい⇒金融貸出しD I（1. 2→1. 2）

向こう3ヶ月の先行き業況は、▲31. 7と悪化する見通し。

◆ 業種別

製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
20.0	▲10.0	20.0	15.0	▲50.0	0.0	0.0

業況DIは20.0（前期比9.4ポイント減）と2期振りの悪化となった。

項目別

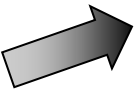
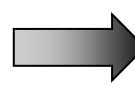
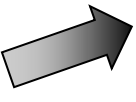
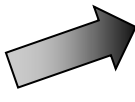
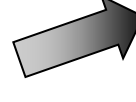
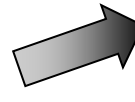
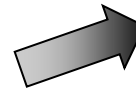
○2期連続改善⇒採算DI（11.8→15.0）

○今期より改善⇒仕入単価DI（▲70.6→▲50.0）

○今期より悪化⇒売上DI（23.5→20.0）、従業員DI（17.6→0.0）、
金融貸出しDI（5.9→0.0）

向こう3ヶ月の業況は、▲10.0と悪化する見通し。

建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲6.7	▲6.7	▲26.7	▲40.0	▲80.0	33.3	6.7

業況DIは▲6.7（前期比30.8ポイント増）と2期連続の改善となった。

項目別

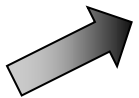
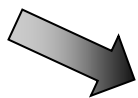
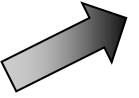
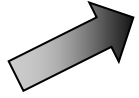
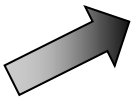
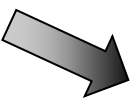
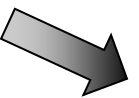
○2期連続改善⇒売上DI（▲50.0→▲26.7）、従業員DI（25.0→33.3）

○今期より改善⇒採算DI（▲50.0→▲40.0）、仕入単価DI（▲87.5→▲80.0）

金融貸出しDI（0.0→6.7）

向こう3ヶ月の業況は、▲6.7と横ばいの見通し。

卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
0.0	▲50.0	27.8	▲11.1	▲33.3	16.7	5.6

業況DIは0.0（前期比29.4ポイント増）と2期連続の改善となった。

項目別

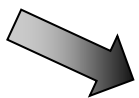
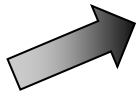
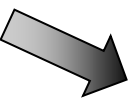
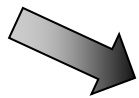
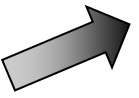
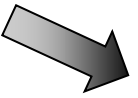
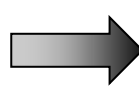
○2期連続改善⇒売上DI（0.0→27.8）、採算DI（▲47.1→▲11.1）

○今期より改善⇒仕入単価DI（▲64.7→▲33.3）

○2期連続悪化⇒従業員DI（23.5→16.7）、金融貸出しDI（5.9→5.6）

向こう3ヶ月の業況は、▲50.0と悪化する見通し。

小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲56.3	▲31.3	▲56.3	▲62.5	▲18.8	0.0	0.0

業況DIは、▲56.3（前期比36.3ポイント減）と2期振りの悪化となった。

項目別

○今期より改善⇒仕入単価DI（▲30.0→▲18.8）

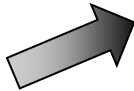

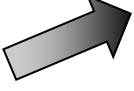



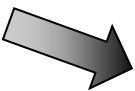
○2期連続悪化⇒従業員DI（10.0→0.0）

○今期より悪化⇒売上DI（▲20.0→▲56.3）、採算DI（▲25.0→▲62.5）

○4期連続横ばい⇒金融貸出しDI（0.0→0.0）

向こう3ヶ月の業況は、▲31.3と改善する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
23. 1	▲69. 2	38. 5	15. 4	▲53. 8	7. 7	▲7. 7

業況DIは23. 1（前期比16. 0ポイント増）と2期連続の改善となった。

項目別

○2期連続改善⇒売上DI（0. 0→38. 5）、採算DI（0. 0→15. 4）


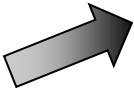
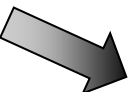
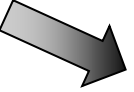
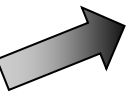

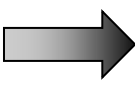
○今期より改善⇒仕入単価DI（▲71. 4→▲53. 8）

○今期より悪化⇒従業員DI（35. 7→7. 7）、金融貸出しDI（▲7. 1→▲7. 7）


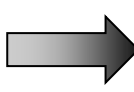


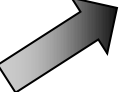
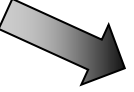

向こう3ヶ月の業況は、▲69. 2と悪化する見通し。

◆ 業種別詳細

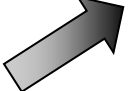

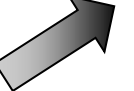

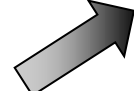

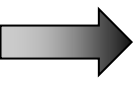
製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


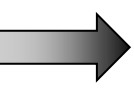


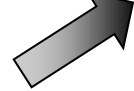

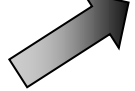
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						



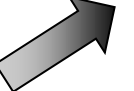
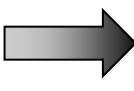

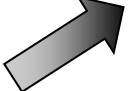
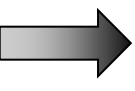
製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

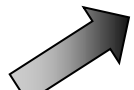




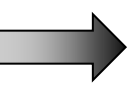
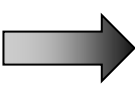
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

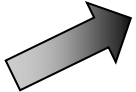

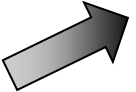
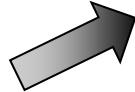



建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

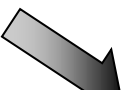






建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


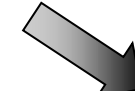

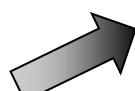
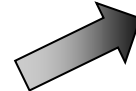
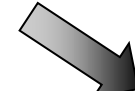
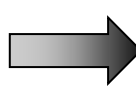
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


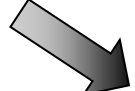



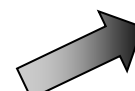

卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

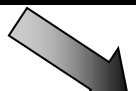


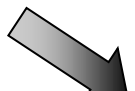

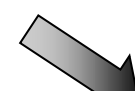
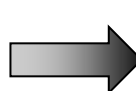
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

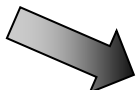
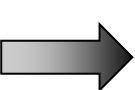

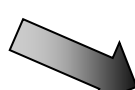

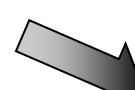
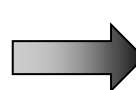
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

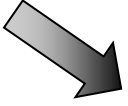
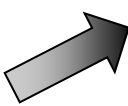
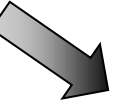
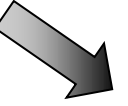
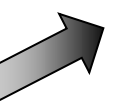
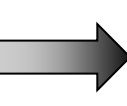
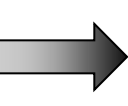
小売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

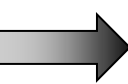
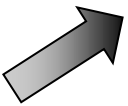
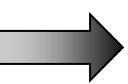
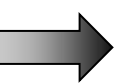
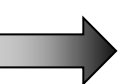
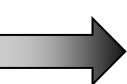
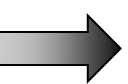
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

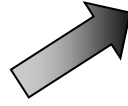
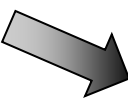
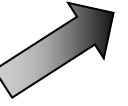
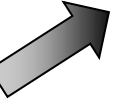
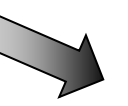
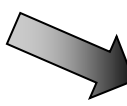
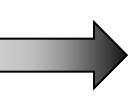
小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

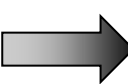
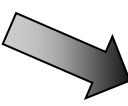

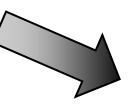

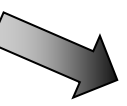
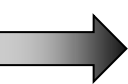
小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						



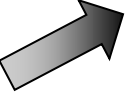
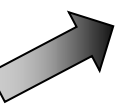
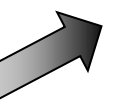

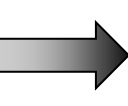
サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題 等）

【製造業】

製造業（食品）

- ・12月は需要が回復していたが、2022年1月から一転して売上が急降下した。加えて原油価格の高騰などから仕入単価も上昇傾向にあり、利益が圧迫されている。

製造業（宝飾）

- ・香港国際宝飾店展がコロナ流行後、1度も開催されておらず、痛手となっている。

【卸売業】

卸売業（食品）

- ・10月～12月と回復傾向だったが、2022年1月から、感染拡大の影響で再び低迷。

卸売業（その他）

- ・原油価格の高騰、新型コロナの再拡大により、非常に厳しい状況を強いられている。

【建設業】

建設業（建築）

- ・材料の欠品が多くなり、納期末定の材料を使う現場の工期に遅れが生じるケースが出ている。
- ・資材価格の上昇や納期の未定により、難しい状況にある。

建設業（土木）

- ・案件があっても調達コストが値上がりしているため、採算が厳しくなっている。
- ・予定していた工事が新型コロナの影響で中止となったため、業況が悪化。職人不足も問題となっている。

【小売業】

小売業（大型店）

- ・12月は新型コロナウイルスの感染者数が減少したことにより、入店客数が例年の半数以上回復した。
しかし、年が明けて新型コロナウイルスの感染が再拡大し、人の動きが止まってしまった。

小売業（家電）

- ・半導体不足の影響で、一部のメーカーでは12月に在庫不足になってしまい、納期遅延が発生した。2022年1月に入り、納期遅延も落ち着いてきたが、今度は新型コロナウイルスの影響が懸念される。

小売業（趣味・日用品）

- ・インテリア商材を中心に、原油価格高騰を名目に値上げが続いている。
- ・商品が間に合わない状況が続いている。

【サービス業】

サービス業（飲食）

- ・新型コロナウイルスの急激な感染拡大により、人の動きが完全に止まってしまい、予約もほぼ全てキャンセルとなった。

以上